

米奥小だより

令和8年1月26日(月)

No.37

米奥小学校 校長 北添 忠

〇5年理科で校内研修

1月21日(水)に、5年生理科の授業を教員全員が見学し、その後、意見交換をしました。授業の内容は「振り子の規則性を確かめる実験を考える」です。前の時間に、実際に振り子をゆらして、その動きを観察して感じたことをもとに、予想と実験方法を考えました。小学校の理科は、見たり触ったりして感じたことや思ったことをスタートにします。そして、観察や実験を通して規則性を見つけるまでの思考と流れを大切にしながら学習していきます。この日の授業では、子どもたちからは複数の予想が出て、それぞれについて確かめる実験方法を考えました。そして、次の時間に実際に実験をし、正解にたどり着きます。

先生がどんな声掛けをしたら分かりやすいのか。子どもたちを夢中にさせるにはどうしたらいいのかなどを、授業を見ている教員も考えます。このような研修を行いながら、教員の授業力向上を目指していきます。



ところで、「振り子」ですが、空気などがなく(真空)、糸の摩擦などもなければ永遠に振れ続けます。ただ実際には空気抵抗などがあるので、柱時計の振り子や音楽で使うメトロノームにはゼンマイが入っています。振り子の規則性を発見したのはガリレオ・ガリレイですが、その後、レオン・フーコーが巨大な振り子を建物の中に作り、地球の自転と共に振り子の振れる方向が変わっていくことを証明しました。もし、家にあるすごく重いダンベルか何かに針金をつけて天井から吊るして揺らすことができれば、振り子の振れる向きが1時間に約10度ずつ変化することを確認されるかもしれません(日本は中緯度にあるため、フーコーの振り子が1周するのに41時間かかる)。

〇学校林で作業を行いました

1月24日(土)、25日(日)に東北の川にある



学校林で作業を行いました。24日は雪やみぞれが時折舞う寒い中での作業となりました。参加者は二日間でのべ13人。初日は草刈り機で林道のシダを刈ったり、邪魔になっている木などをチェーンソーで伐ったり、山頂にある崩れかけの東屋を林内作業車で引っ張って倒したりしました。2日目は初



日にできなかった所のシダを刈る作業や、解体した東屋の片付けなどを行いました。林道の道幅は軽トラが通れるぎりぎりの幅があるのですが、傾斜がきつく入ることができません。そのため、東屋の解体で出た廃材の



多くはまだ山頂にあり、今後どのようにしていくか考えているところです。

今回林道を整備した学校林は広く、今後、活用を検討していきますが、2月14日（土）の参観日に行



う山の活動において、山頂から林道を下り、ふもと付近でスギの伐採を見学、その後、丸太の運び出しを体験したり、皮はぎもできたらと考えているところです。伐った丸太は、丸太ごいにする予定です。

